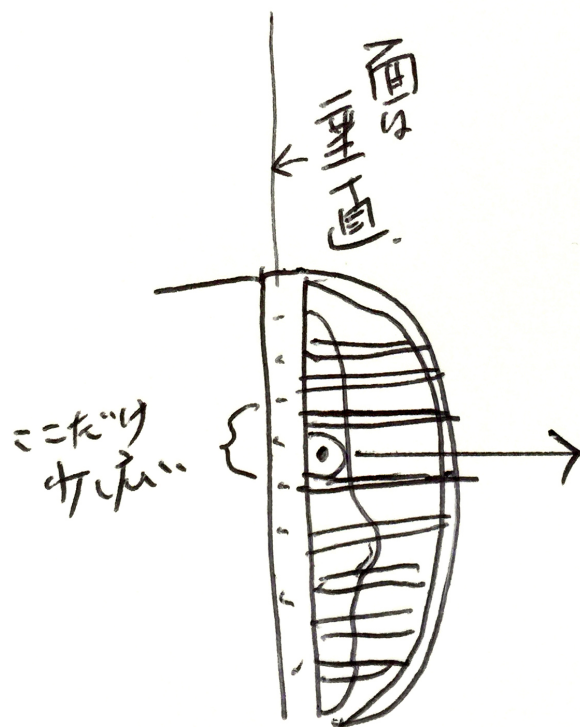


誰も言わなかった！
「**本当の物見の
合わせ方**」



「店長！今使っている面の物見が合わないんです・・・。何とかありませんか？」

とにかく、よく相談されます。電話で、メールで、毎日のように・・・。年齢を問わず、本当に物見があわなくて悩んでいる人は多いと思います。

そもそも昔買った防具なら、物見の高さまで合わせて面を購入した記憶はほとんど無いかと。面のサイズすら正しく計測したかも怪しい・・・。

物見が合っていないと稽古中に面金が気になったり、面が傾いた状態で着装するようになったり、日によって物見が合ったり合わなかったりといった事になります。

物見が正しく合っていると面がまっすぐ奥までかぶれます。まっすぐ面をかぶった状態が一番前が見やすいので顔が上下に傾く事はありません。結果、立ち姿まで変わってくるのです。

なぜ、世間の防具屋さんが「うちの防具は良いよ」的なことばかりいって、サイズ合わせの大切さをあまり声を大にして言わないか不思議ですが、当店ではサイズ合わせ、物見合わせこそが防具の使用感を決定づけると思います。そもそも防具の使い勝手というのはサイズ合わせで8割、防具の品質で2割決まると思っています。どんなに安価な剣道具でも自分の身体のサイズにピッタリあって物見も合っていればそれだけで軽く感じて使いやすいものです。逆にいくら高価な剣道具でもサイズや物見が合わなければ使い物になりません。

そもそも物見が正しくあった面をかぶった経験がない小学生や中学生などは逆にあまり気にしていないかもしれません（特に本人は・・・）。ですが高校生や

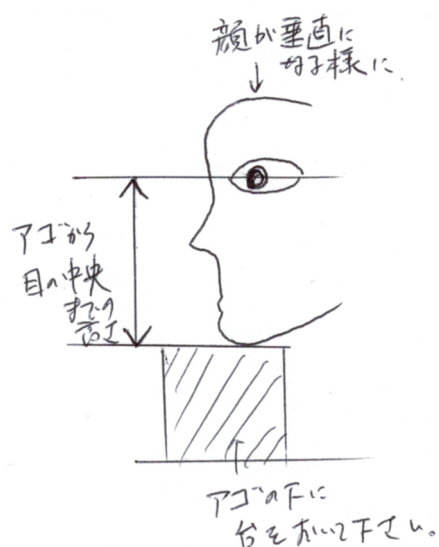
大学生、一般になると「何か自分の面は物見が合っていないのでは・・・？」と不思議に思います。それでも相談すべき武道具屋さんで「そんなもんですよ。馴染めばそのうち合います。」と言われるとそれ以上言いようがなく結果我慢してしまいます。

話が出たついでに、剣道具は使用経過で少し伸びて緩みますので最初は少しだけ小さめくらいがベストです。ですから馴染んだ時に物見が合うよう作られた面というのは馴染めば当然物見は合います。ですが、長年の使用経過で馴染んだ状態で物見が合っていないのであれば、その先その面については物見が合うことはありません。絶対です、断言出来ます。

では実際に物見を合わせるにはどうすればよいのでしょうか？

多くの人が勘違いをしています。

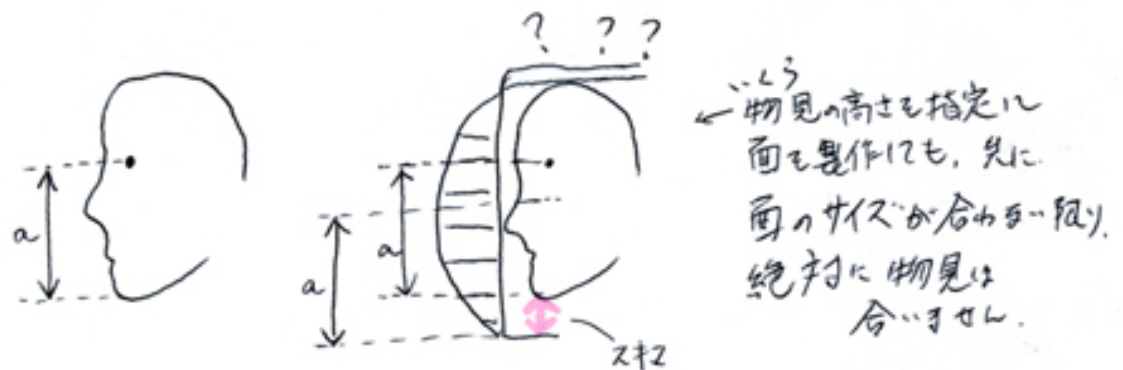
物見をあわせるには「アゴから目までの長さを測ればいいんだ。」と。剣道具の注文用紙で見たことがある人もいるかもしれません。誰もが思います。



実はこの図こそが最大の落とし穴なのです。

この計測は最後の最後で行うもの、ここだけ計測しても絶対に物見は合いません。

では何が一番大切かというと、「面のサイズ合わせ」です。



前提として、面サイズが正しくあっていないとそもそも面がまっすぐかぶることができません。額が入りきらず上を向いて面がついてしまったり、逆に面が大きすぎていくら紐をしめてもどんどん下に落ちてくるようでは物見は合わせようがないのです。

「ひよこが先か卵が先か」といった話ではなく、「物見の高さ」よりも「面のサイズ」が先なのです。まずこれが一番大切な話。

面のサイズがピッタリ（私の言うピッタリとは1 cm 単位で合っているという意味です）でさえすれば、7割の人は物見は職人さんに取り付けた標準のまま

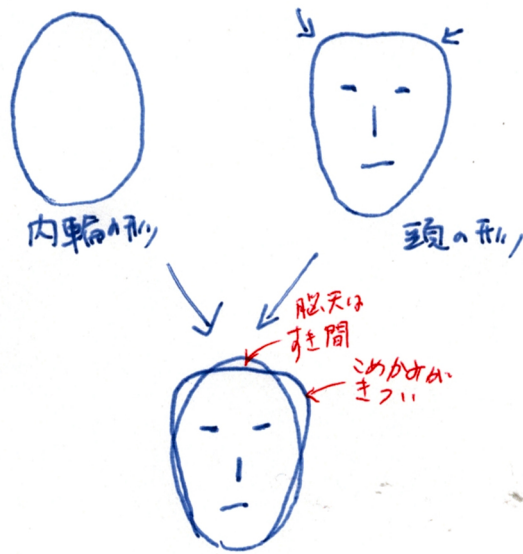
の物見の高さで合います。逆に物見の高さを自分で計測するリスクもありますので物見の高さは触らないほうがいい。

なぜ断言出来るかというと実際にデータが出ているからです。当店はサイズの打ち合わせ時に1 cm 違いのサイズの異なる面を3つお送りして面のサイズと物見合わせの打ち合わせを行います、多くの方は面のサイズがあっていれば物見は合っています。

後の3割の方というのは難しい。ここが店長の腕の見せどころですが、他の原因としては

- ・ 実際に目の位置が低い（意外とこのケースは少ないです）
- ・ 頭のハチ周りが張っている（多い！）
- ・ 頭の形で脳天（天頂部）が飛び出している
- ・ 面金にも大きさが合っていない（面金にもサイズや本数があります）
- ・ アゴが小さい女性、中学生などは特に物見より目が下に来やすい

といった事があります。



男性で多いのが、上記の図のように内輪の形と頭の形が合わないケース。面の中のスペースがハチ周りで取られてしまい、頭が面の上まで入りきりません。

これは完全にオーダーメイド剣道具、当店でいうと百年防具での対応になりますが、内輪の形をできるだけ顔の形に近づけてやると当然面の馴染み方が変わってきて物見も合わせやすいです。面長の人や丸顔の人と同様に内輪の形まで細かく頭の形に近づけてやると馴染みが早いです。

【小学生の場合】

子供たちは基本的には道場所所有の防具を借りるケースが多いと思います。その場合借りている防具では基本となる面サイズそのものを合わせることからして大変むずかしいです。道場の先生もできるだけ合う防具を貸してはくれますが完全にはピッタリサイズで合わせるのは無理というものです。貸していただける防具については大切に使って下さい。私の通う道場でも子供たちは面を道

場から借りて使っていますが物見どころか面のサイズをあわせるだけで一苦労です。

それでも子供たちが多くて道場に貸出用防具が不足していたり、ちょうど良いサイズが無かった場合には自分で防具を選ぶことになります。

そこで2つの考え方が出てきます。

- ・ 1年生～6年生まで長く使えるように大きめの面を買っておく
- ・ 下にも兄弟がいたりするので、今使いやすいようピッタリの面を買う

大きめの面を買う際には調整布団なども考慮に入れて買うことになりますがそもそも面サイズがピッタリあっていないので物見まで合わせることはできません。（調整布団が入っている時点で物見は合わせにくいはずです）あと大きすぎる面はどんどん前に落ちてきて使い物になりません。

今後の成長もありますが、ピッタリかプラス1cmくらい面のサイズの余裕を見っておくくらいで何とか物見まで合わせようという話になります。

それでも小学生の面の物見と言うのは合わせるのが難しいです。頭の形が大人とは違いますので……。ちなみに後頭部も丸いので面布団から子供たちははみ出しやすいです。

当店にご来店されて親御さんが「物見までピッタリ合わせて欲しい」と言われれば、現状サイズ+1cmで物見まで合わせる形でご提案しています。（調整布団まで必要なほど大きめの面はやりません）。

特に女の子で小顔の子がいます（手も小さかったりします）。その場合は小学生用の面ならば一番小さいものでも大きすぎたりすることがあります。その際には幼年用も考慮にいれて合わせた方が上手く合います。幼年用といっても最近では小学生用と変わらない作りの防具ありますし、何より本人が使いやすいと思います。

【中学生の場合】

中学生の場合は多くが1年生の入学時に防具を買うことと思います。防具屋さんが学校に来てくれて計測してもらえる事もあるでしょうし、自分たちでネット通販等で防具を揃えなければいけないこともあるはずです。

このケースでも親御さんの希望としては今後の成長を考えて大きめサイズの防具をまず考えてしまうと思います。

ですが、ここでもやはり、大きすぎる面というのは物見があわなくて当然、前にどんどん落ちてきて使い物にならないのです。

また新一年生は体格が本当にバラバラでもう160cmくらいに身長が伸びている子もいれば140cmくらいでまだまだ小学生の体型といった子もいます。これらみんなを同一に防具のサイズをあわせるというのは不可能で、やはり個別に見ていく必要があります。

当店では中学生の防具選びが一番サイズ合わせが難しいので、できるだけお店に来てもらっています。その上でピッタリサイズ+1cmの面でほぼ決まることが多いです。+2cm以上大きくなるとやはり調整布団が必要になったり、物見が合わないことがほとんどです。

通販などではそもそもピッタリサイズを自分で計測すること自体が難しいので私個人の考えとしては近所の武道具店へ行かれてぴったり目+1cmくらいで面を買われた方が良いでしょう。

そこまでしてようやく何とか物見が合う、合わないといった話になります。

当店では中学生の子でもサイズや物見が合わなければ面を別注対応することがあります。時間はかかりますが、合わない子は標準のままでは合いません。お

店にきてサイズ測定用の面をかぶり比べて判断しています。

お店でピッタリサイズの面をかぶった上で、それでも物見が合わない、合いにくいという場合には面を別注してでも合わせることをオススメしています。

(ただ実際には1日でも早く防具は欲しいですし、他のみんなと一緒にスタートしたいので納期優先という場合も当然あります)

中学1年で買う剣道具というのはこれから中学、高校と一番稽古が激しい基本が出来る時期に使用します。

そこで物見が合っていなかったりすると、面が傾いてしまい、それだけで悪い癖がついてしまいます。

稽古が激しくなる中学生だからこそ、ピッタリサイズの防具を合わせてあげてください。防具の品質や手刺し防具にこだわるよりも、とにかくサイズを合わせてあげてください。

中学3年間で身長が 20cm も伸びてしまえば、どうしたって面のサイズや物見が合わないことが出てきます。それは親御さんとしては「嬉しい誤算」ではありませんか！

【大人の場合】

一般の場合は基本的には今の頭のサイズにピッタリか少し小さめくらいで面を用意します。その上で物見も合わせます。

面のサイズの判断、物見のいち合わせにはどうしたって「面を実際にかぶってみる」しかありません(当たり前の事だと思うのですが・・・誰も言いたがりません)。メジャーだけの採寸で完全に物見まで合うはずがないのです。

合えばラッキー、合わなければ残念・・・。

違います、剣道具選びはギャンブルではないのです。

みなさんよく誤解されるのが自分で計測して防具を作ります。そこで
「合わなければ交換・返品」
「合わなければ調整」
と考えてしまいます。

これは話が逆です。

「購入前に出来るだけ細かくサイズの打ち合わせ」

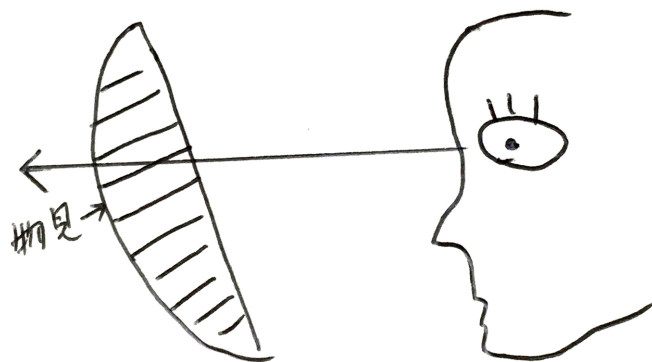
をすることでサイズが合わないリスクを低くすることが出来ます。

想像してください。仕上がったばかりのピカピカの防具のサイズが合わない時のことを……。お店に送り返すのですが調整するのにまた時間がかかってしまいます。早く使いたいのに……。

購入前に出来るだけ細かく面のサイズ、物見の打ち合わせをしてください。

当店の場合、通販でもサイズが 1cm ことに異なるサイズ測定用の面を実際にお送りしてサイズ合わせをしています。(全員です！)。そこまでしてようやく物見が合う、合わないといった話が出来ます。

前述したように物見が合う合わないは単純に目の高さの話では無いのです。他にも頭の形や、アゴの大きさといったいろいろな原因があります。それらを防具の製作前に解消するには実際に面をいくつもかぶっていただく必要がありますし、自分でわからなければ面をかぶっている様子の写真をメールで送っていただく事もよくあります。通販でもお店で計測しているのと変わらないように打ち合わせをしています。

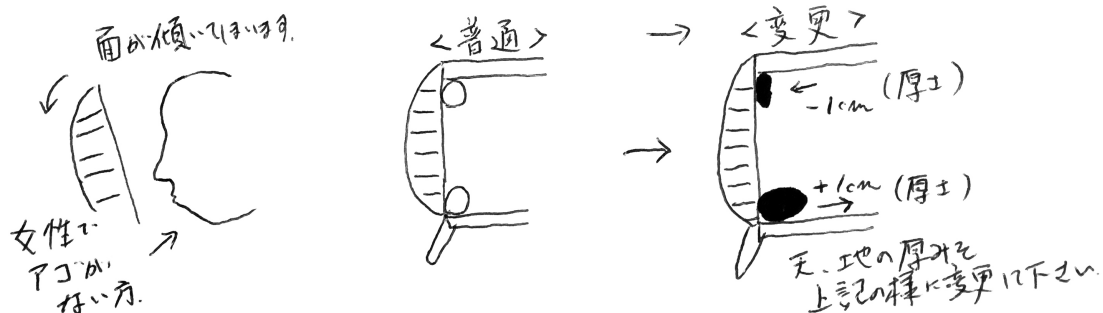


面が傾いていりしとれたいわ
物見が一段ズレていよう...

はっきりいってサイズの打ち合わせには手間も時間もかかります。

ですが、製作前に手間をかけた方が間違いないのです。仕上がってから合いませんでした、はい、やり直しでは防具も可哀想です。

アゴの形もみなさん違いますが、アゴが小さい、無いという場合もあります（特に女性に多い）。その場合はアゴが引っかからないので下記のイラストのように面がまっすぐ付くように工夫したりします（稀なケースですがなんとか物見を合わせてあげたい！）



また、他店さんで買った今持っている面が物見があわないんだけど「良い面」だから何とか調整して欲しいといった事も良く相談されます。

ですが、今物見が合っていない面を調整だけで物見まで合わせるというのは不可能です。多くの場合、物見の高さに原因があるのではなく、サイズそのものからして合っていなかったり、内輪の大きさも全然合っていない場合が多いからです。

「面を組み直しをしてもらったんだけどまだ合わないんだよ・・・」という話も聞きますが、いくら組み直しをしたところで原因がはっきり分かっていないまま組み直しをいくらしたって物見が合う事ありません。

そのくらいまるっきり見当違いの面を調整で直すというのは難しい事なのです。
(はっきりいって、一から新しく面を作ったほうが簡単)

製作前にきっちり計測して面をかぶり比べてみて「絶対に間違いない！」と思えた状態で防具を作るほうが良いのです。

ここまで細かく計測して、面もお送りして、写真も送ってもらったりして物見を合わせようと努力していますが、それでも当店でさえ 100%物見が合うわけではありません。年間を通じれば物見が合わない事も数件程度は正直あります。その数を出来るだけ減らそうと努めていますが、やはり人の頭の形というのは全員違いますし、防具だって全てが手作りです。毎回毎回「完全に同じ大きさ」というのはあり得ない話です。合わなかった場合に責任をもって対応するかどうか、責任者がはっきりしているかどうか大切です。

当店の場合は責任者がはっきりしています。サイズの打ち合わせをした私、店長にすべての責任があります。

当店の場合、面のサイズや物見が合わない場合の対応を最初から決めています。

物見が合わないと分かった場合・・・

- ・ 合わなかった原因をはっきりさせる（一番大事！）
↓
- ・ まずは、内輪の調整（もともと細かく打ち合わせをしているので多くの場合、調整で充分対応できます）
↓
- ・ それでもだめなら面の組み直し（年に1～2件程度はあります）
↓
- ・ それでもだめなら面を再製作する（ほとんどありませんが、2年に1回くらいは正直あります）

と決めています。剣道具は稽古で使うものだからこそ売りっぱなしではいけません、アフターフォローも責任をもって対応しています。

物見がきっちりあった面というのは「こんなに視界が広がったのか！」と感激されると思います。本当に立ち姿まで変わります。

是非、一緒に物見があった面で格好いい剣道家になりましょう！
（私も息子から「父ちゃん格好いい！」と言われたいです・・・）

百秀武道具店
店長 宇賀雄一郎